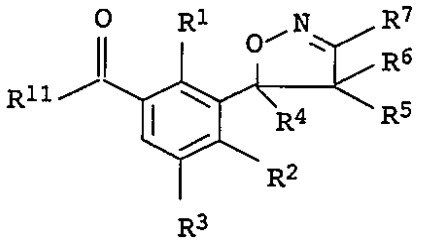
【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第２区分
【発行日】平成20年2月14日(2008.2.14)

【公表番号】特表2003-518114(P2003-518114A)
【公表日】平成15年6月3日(2003.6.3)
【出願番号】特願2001-547092(P2001-547092)
【国際特許分類】
*Ｃ０７Ｄ 261/04　(2006.01)*
*Ａ０１Ｎ 43/80　(2006.01)*
*Ｃ０７Ｄ 413/12　(2006.01)*
*Ｃ０７Ｄ 413/14　(2006.01)*
【ＦＩ】
Ｃ０７Ｄ 261/04
Ａ０１Ｎ 43/80　１０１
Ｃ０７Ｄ 413/12
Ｃ０７Ｄ 413/14

【誤訳訂正書】
【提出日】平成19年12月13日(2007.12.13)
【誤訳訂正１】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】特許請求の範囲
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
式Ｉ：
【化１】



Ｉ

〔式中、
$R^1$、$R^2$は水素、ニトロ、ハロゲン、シアノ、$C_1$-$C_6$-アルキル、$C_1$-$C_6$-ハロアルキル、$C_1$-$C_6$-アルコキシ、$C_1$-$C_6$-ハロアルコキシ、$C_1$-$C_6$-アルキルチオ、$C_1$-$C_6$-ハロアルキルチオ、$C_1$-$C_6$-アルキルスルフィニル、$C_1$-$C_6$-ハロアルキルスルフィニル、$C_1$-$C_6$-アルキルスルホニルまたは$C_1$-$C_6$-ハロアルキルスルホニルであり；
$R^3$は水素、ハロゲンまたは$C_1$-$C_6$-アルキルであり；
$R^4$は水素または$C_1$-$C_4$-アルキルであり；
$R^5$、$R^6$は水素、ハロゲン、シアノ、ニトロ、$C_1$-$C_4$-アルキル、$C_1$-$C_4$-アルコキシ-$C_1$-$C_4$-アルキル、ジ($C_1$-$C_4$-アルコキシ)-$C_1$-$C_4$-アルキル、ジ($C_1$-$C_4$-アルキル)アミノ-$C_1$-$C_4$-アルキル、ジ($C_1$-$C_4$-アルキル)アミノイミノ-$C_1$-$C_4$-アルキル、ヒドロキシイミノ-$C_1$-$C_4$-アルキル、$C_1$-$C_6$-アルコキシイミノ-$C_1$-$C_4$-アルキル、$C_1$-$C_4$-アルコキシカルボニル-$C_1$-$C_4$-アルキル、$C_1$-$C_4$-アルキルチオ-$C_1$-$C_4$-アルキル、$C_1$-$C_4$-ハロアルキル、$C_1$-$C_4$-シアノアルキル、$C_3$-$C_8$-シクロアルキル、$C_1$-$C_4$-アルコキシ、$C_1$-$C_4$-アルコキシ-$C_2$-$C_4$-アルコキシ、$C_1$-$C_4$-ハロアルコキシ、$C_1$-$C_4$-アルキルチオ、$C_1$-$C_4$-ハロアルキルチオ、ジ($C_1$-$C_4$

-アルキル)アミノ、$COR^8$、フェニルまたはベンジル(ここで最後に挙げた２つの置換基は、部分的に、または完全にハロゲン化され、および／またはニトロ、シアノ、$C_1$-$C_4$-アルキル、$C_1$-$C_4$-ハロアルキル、$C_1$-$C_4$-アルコキシまたは$C_1$-$C_4$-ハロアルコキシからなる群のうちの１～３個の置換基を有していてもよく)；または

$R^5$および$R^6$は、一緒になって、$C_1$-$C_4$-アルキルによりモノ～テトラ置換されているか、および／または酸素、若しくは$C_1$-$C_4$-アルキル置換されていてもよい窒素が挿入されていてもよい$C_2$-$C_6$-アルカンジイル鎖を形成し；

$R^7$は、ハロゲン、シアノ、ヒドロキシル、$C_1$-$C_6$-アルキル、$C_1$-$C_6$-ハロアルキル、$C_1$-$C_6$-アルコキシ、$C_1$-$C_6$-ハロアルコキシ、$C_1$-$C_6$-アルキルチオ、$C_1$-$C_6$-ハロアルキルチオ、$C_1$-$C_6$-アルキルスルフィニル、$C_1$-$C_6$-ハロアルキルスルフィニル、$C_1$-$C_6$-アルキルスルホニル、$C_1$-$C_6$-ハロアルキルスルホニル、アミノ、$C_1$-$C_6$-アルキルアミノ、ジ($C_1$-$C_6$-アルキル)アミノ、ジ($C_1$-$C_4$-アルコキシ)メチル、ヒドロキシイミノ-$C_1$-$C_4$-アルキル、$C_1$-$C_6$-アルコキシイミノ-$C_1$-$C_4$-アルキルまたは$COR^8$であり；

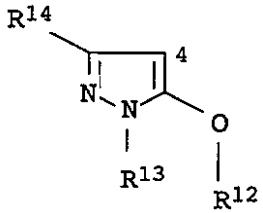
$R^8$は、水素、$C_1$-$C_4$-アルキル、$C_1$-$C_4$-ハロアルキル、ヒドロキシル、$C_1$-$C_4$-アルコキシ、$C_1$-$C_4$-アルコキシ-$C_2$-$C_4$-アルコキシ、$C_1$-$C_4$-ハロアルコキシ、$C_3$-$C_6$-アルケニルオキシ、$C_3$-$C_6$-アルキニルオキシまたは$NR^9R^{10}$であり；

$R^9$は、水素または$C_1$-$C_4$-アルキルであり；

$R^{10}$は、$C_1$-$C_4$-アルキルであり；

$R^{11}$は、下記式IIの4位で結合するピラゾールである：

【化２】




II

(式中、

$R^{12}$は、水素、$C_1$-$C_4$-アルキル、$C_1$-$C_4$-ハロアルキル、$C_3$-$C_4$-アルケニル、$C_3$-$C_4$-アルキニル、$C_1$-$C_4$-アルキルカルボニル、$C_1$-$C_4$-ハロアルキルカルボニル、$C_1$-$C_4$-アルキルスルホニル、$C_1$-$C_4$-ハロアルキルスルホニル、チエニルメチル、フェニル、ベンジル、フェニルカルボニル、フェニルスルホニルまたはフェニルカルボニルメチルであり(最後に挙げた５つの置換基のフェニル基は、部分的に、または完全にハロゲン化され、および／またはニトロ、シアノ、$C_1$-$C_4$-アルキル、$C_1$-$C_4$-ハロアルキル、$C_1$-$C_4$-アルコキシまたは$C_1$-$C_4$-ハロアルコキシからなる群のうちの１～３個の置換基を有していてもよい)；

$R^{13}$は、$C_1$-$C_6$-アルキル、$C_1$-$C_6$-ハロアルキルまたは$C_3$-$C_6$-シクロアルキルであり；

$R^{14}$は、水素、$C_1$-$C_6$-アルキルまたは$C_3$-$C_6$-シクロアルキルである。〕

で表される3-(4,5-ジヒドロイソオキサゾール-5-イル)ベンゾイルピラゾールおよびその農業上有用な塩。

【請求項２】

$R^3$が水素である、請求項１に記載の式Ｉで表される3-(4,5-ジヒドロイソオキサゾール-5-イル)ベンゾイルピラゾール。

【請求項３】

$R^1$、$R^2$が、ニトロ、ハロゲン、シアノ、$C_1$-$C_6$-アルキル、$C_1$-$C_6$-ハロアルキル、$C_1$-$C_6$-アルコキシ、$C_1$-$C_6$-ハロアルコキシ、$C_1$-$C_6$-アルキルチオ、$C_1$-$C_6$-ハロアルキルチオ、$C_1$-$C_6$-アルキルスルフィニル、$C_1$-$C_6$-ハロアルキルスルフィニル、$C_1$-$C_6$-アルキルスルホニルまたは$C_1$-$C_6$-ハロアルキルスルホニルである、

請求項１または２に記載の式Ｉで表される3-(4,5-ジヒドロイソオキサゾール-5-イル)ベンゾイルピラゾール。

【請求項４】

$R^{12}$が、$C_1$-$C_4$-アルキルスルホニル、$C_1$-$C_4$-ハロスルホニルまたはフェニルスルホニル

であって、ここで、フェニル基は部分的にまたは完全にハロゲン化され、および／またはニトロ、シアノ、$C_1$-$C_4$-アルキル、$C_1$-$C_4$-ハロアルキル、$C_1$-$C_4$-アルコキシまたは$C_1$-$C_4$-ハロアルコキシからなる群のうち１～３個の置換基を有していてもよい、
請求項１～３のいずれか１項に記載の式Ｉで表される3-(4,5-ジヒドロイソオキサゾール-5-イル)ベンゾイルピラゾール。

【請求項５】

$R^{12}$が、ベンジルであって、ここで、フェニル基は部分的にまたは完全にハロゲン化され、および／またはニトロ、シアノ、$C_1$-$C_4$-アルキル、$C_1$-$C_4$-ハロアルキル、$C_1$-$C_4$-アルコキシまたは$C_1$-$C_4$-ハロアルコキシからなる群のうち１～３個の置換基を有していてもよい、請求項１～３のいずれか１項に記載の式Ｉで表される3-(4,5-ジヒドロイソオキサゾール-5-イル)ベンゾイルピラゾール。

【請求項６】

$R^{12}$が水素である、請求項１～３のいずれか１項に記載の式Ｉで表される3-(4,5-ジヒドロイソオキサゾール-5-イル)ベンゾイルピラゾール。

【請求項７】

$R^5$が、水素、ハロゲン、シアノ、ニトロ、$C_1$-$C_4$-アルキル、$C_1$-$C_4$-アルコキシ-$C_1$-$C_4$-アルキル、$C_1$-$C_4$-アルコキシカルボニル-$C_1$-$C_4$-アルキル、$C_1$-$C_4$-アルキルチオ-$C_1$-$C_4$-アルキル、$C_1$-$C_4$-ハロアルキル、$C_1$-$C_4$-シアノアルキル、$C_3$-$C_8$-シクロアルキル、$C_1$-$C_4$-アルコキシ、$C_1$-$C_4$-アルコキシ-$C_2$-$C_4$-アルコキシ、$C_1$-$C_4$-ハロアルコキシ、$C_1$-$C_4$-アルキルチオ、$C_1$-$C_4$-ハロアルキルチオ、ジ($C_1$-$C_4$-アルキル)アミノ、$COR^8$、フェニルまたはベンジルであり(ここで、最後に挙げた２つの置換基は、部分的にまたは完全にハロゲン化され、および／またはニトロ、シアノ、$C_1$-$C_4$-アルキル、$C_1$-$C_4$-ハロアルキル、$C_1$-$C_4$-アルコキシまたは$C_1$-$C_4$-ハロアルコキシからなる群のうち１～３個の置換基を有していてもよい)；

$R^6$が、水素または$C_1$-$C_4$-アルキルである、
請求項１～６のいずれか１項に記載の式Ｉで表される3-(4,5-ジヒドロイソオキサゾール-5-イル)ベンゾイルピラゾール。

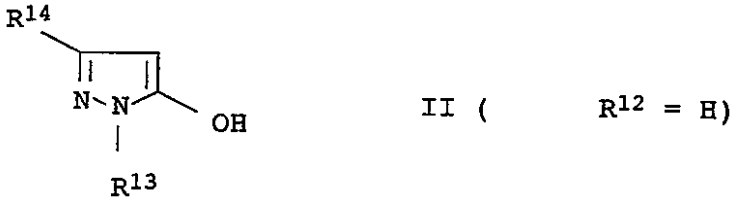
【請求項８】

$R^5$および$R^6$が水素である、
請求項１～７のいずれか１項に記載の式Ｉで表される3-(4,5-ジヒドロイソオキサゾール-5-イル)ベンゾイルピラゾール。

【請求項９】

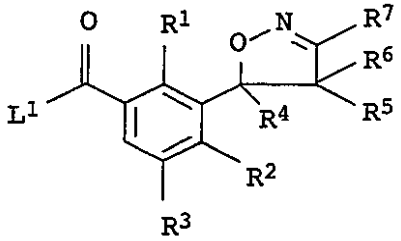
式II：

【化３】

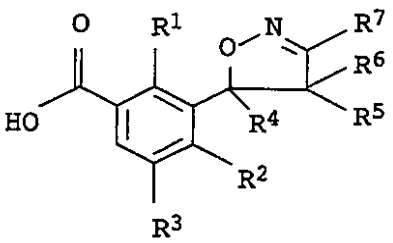



(式中、$R^{12}$は水素であり、基$R^{13}$および$R^{14}$は請求項１で定義したとおりである)
で表されるピラゾールを、以下の式で表される活性化カルボン酸IIIαまたはカルボン酸IIIβ：

【化４】

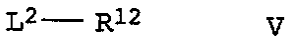


IIIα



IIIβ

(式中、基$R^1$～$R^7$は、請求項１で定義した通りであり、$L^1$は求核的に置換可能な脱離基である)
でアシル化し、次いで適切ならば触媒の存在下で、アシル化生成物を転位させて化合物I($R^{12}$は水素)とし、次いで所望により式V：
【化５】

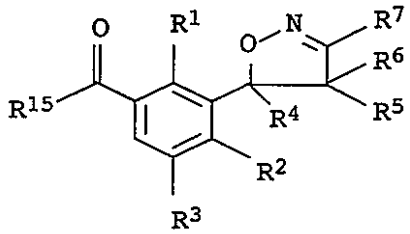


V

(式中、$R^{12}$は、水素を除いて請求項１で定義した通りであり、$L^2$は求核的に置換可能な脱離基である)で表される化合物と反応させて、式Ｉで表される3-(4,5-ジヒドロイソオキサゾール-5-イル)ベンゾイルピラゾールを製造する($R^{12}$は水素ではない)ことを含む、請求項１の式Ｉで表される3-(4,5-ジヒドロイソオキサゾール-5-イル)ベンゾイルピラゾールの製造方法。

【請求項１０】

式III：
【化６】



III

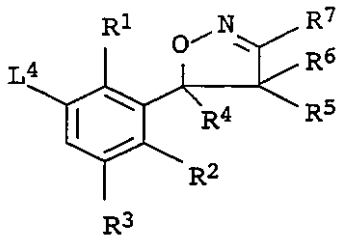
(ここで、$R^{15}$は、ヒドロキシル基または加水分解によって除去できる基であり、基$R^1$～$R^7$は、請求項１～８で定義した通りである)
で表される3-(4,5-ジヒドロイソオキサゾール-5-イル)ベンゾイルピラゾール。

【請求項１１】

$R^{15}$が、ハロゲン、ヒドロキシルまたは$C_1$-$C_6$-アルコキシである、請求項１０に記載の式IIIで表される3-(4,5-ジヒドロイソオキサゾール-5-イル)ベンゾイルピラゾール。

【請求項１２】

式VI：
【化７】



VI

（式中、

$R^1$、$R^2$は、ニトロ、ハロゲン、シアノ、$C_1$-$C_6$-アルキル、$C_1$-$C_6$-ハロアルキル、$C_1$-$C_6$-アルコキシ、$C_1$-$C_6$-ハロアルコキシ、$C_1$-$C_6$-アルキルチオ、$C_1$-$C_6$-ハロアルキルチオ、$C_1$-$C_6$-アルキルスルフィニル、$C_1$-$C_6$-ハロアルキルスルフィニル、$C_1$-$C_6$-アルキルスルホニルまたは$C_1$-$C_6$-ハロアルキルスルホニルであり；

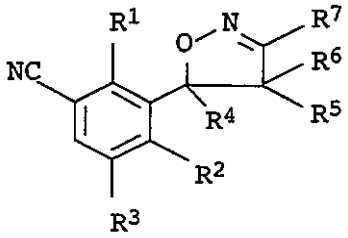
$L^4$はハロゲンであって、基$R^3$～$R^7$は、請求項１～８で定義した通りである。）

で表される化合物。

【請求項１３】

式VII：

【化８】




**VII**

（式中、基$R^1$～$R^7$は、請求項１～８で定義した通りである。）

で表される化合物。

【請求項１４】

除草剤として有効な量の請求項１～８のいずれか１項に記載の式Ｉで表される少なくとも１種の3-(4,5-ジヒドロイソオキサゾール-5-イル)ベンゾイルピラゾールまたはその農業上有用な塩と、農作物保護剤を製剤するために通常使用されている助剤とを含む組成物。

【請求項１５】

除草剤として有効な量の請求項１～８のいずれか１項に記載の式Ｉで表される少なくとも１種の3-(4,5-ジヒドロイソオキサゾール-5-イル)ベンゾイルピラゾールまたはその農業上有用な塩と、農作物保護剤を製剤するために通常使用されている助剤とを混合する工程を含む、請求項１３に記載の組成物の製造方法。

【請求項１６】

除草剤として有効な量の請求項１～８のいずれか１項に記載の式Ｉで表される少なくとも１種の3-(4,5-ジヒドロイソオキサゾール-5-イル)ベンゾイルピラゾールまたはその農業上有用な塩を、植物、その生育場所および／または種子に作用させることを含む、望ましくない植生を抑制する方法。

【請求項１７】

請求項１～８のいずれか１項に記載の式Ｉで表される3-(4,5-ジヒドロイソオキサゾール-5-イル)ベンゾイルピラゾールおよびその農業上有用な塩の除草剤としての使用。

【誤訳訂正２】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】０００１

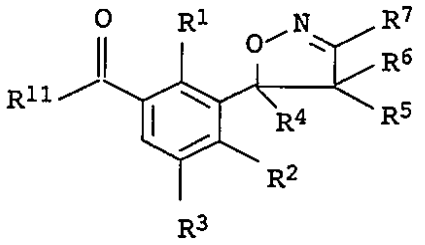
【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【０００１】

本発明は、式Ｉ：

【化８】



I

〔式中、

$R^1$、$R^2$は水素、ニトロ、ハロゲン、シアノ、$C_1$-$C_6$-アルキル、$C_1$-$C_6$-ハロアルキル、$C_1$-$C_6$-アルコキシ、$C_1$-$C_6$-ハロアルコキシ、$C_1$-$C_6$-アルキルチオ、$C_1$-$C_6$-ハロアルキルチオ、$C_1$-$C_6$-アルキルスルフィニル、$C_1$-$C_6$-ハロアルキルスルフィニル、$C_1$-$C_6$-アルキルスルホニルまたは$C_1$-$C_6$-ハロアルキルスルホニルであり；

$R^3$は水素、ハロゲンまたは$C_1$-$C_6$-アルキルであり；

$R^4$は水素または$C_1$-$C_4$-アルキルであり；

$R^5$、$R^6$は水素、ハロゲン、シアノ、ニトロ、$C_1$-$C_4$-アルキル、$C_1$-$C_4$-アルコキシ-$C_1$-$C_4$-アルキル、ジ($C_1$-$C_4$-アルコキシ)-$C_1$-$C_4$-アルキル、ジ($C_1$-$C_4$-アルキル)アミノ-$C_1$-$C_4$-アルキル、ジ($C_1$-$C_4$-アルキル)アミノイミノ-$C_1$-$C_4$-アルキル、ヒドロキシイミノ-$C_1$-$C_4$-アルキル、$C_1$-$C_6$-アルコキシイミノ-$C_1$-$C_4$-アルキル、$C_1$-$C_4$-アルコキシカルボニル-$C_1$-$C_4$-アルキル、$C_1$-$C_4$-アルキルチオ-$C_1$-$C_4$-アルキル、$C_1$-$C_4$-ハロアルキル、$C_1$-$C_4$-シアノアルキル、$C_3$-$C_8$-シクロアルキル、$C_1$-$C_4$-アルコキシ、$C_1$-$C_4$-アルコキシ-$C_2$-$C_4$-アルコキシ、$C_1$-$C_4$-ハロアルコキシ、$C_1$-$C_4$-アルキルチオ、$C_1$-$C_4$-ハロアルキルチオ、ジ($C_1$-$C_4$-アルキル)アミノ、$COR^8$、フェニルまたはベンジル(ここで最後に挙げた２つの置換基は、部分的に、または完全にハロゲン化され、および／またはニトロ、シアノ、$C_1$-$C_4$-アルキル、$C_1$-$C_4$-ハロアルキル、$C_1$-$C_4$-アルコキシまたは$C_1$-$C_4$-ハロアルコキシからなる群のうちの１～３個の置換基を有していてもよく)；または

$R^5$および$R^6$は、一緒になって、$C_1$-$C_4$-アルキルによりモノ～テトラ置換されているか、および／または酸素、若しくは$C_1$-$C_4$-アルキル置換されていてもよい窒素が挿入されていてもよい$C_2$-$C_6$-アルカンジイル鎖を形成し；

$R^7$は、ハロゲン、シアノ、ヒドロキシル、$C_1$-$C_6$-アルキル、$C_1$-$C_6$-ハロアルキル、$C_1$-$C_6$-アルコキシ、$C_1$-$C_6$-ハロアルコキシ、$C_1$-$C_6$-アルキルチオ、$C_1$-$C_6$-ハロアルキルチオ、$C_1$-$C_6$-アルキルスルフィニル、$C_1$-$C_6$-ハロアルキルスルフィニル、$C_1$-$C_6$-アルキルスルホニル、$C_1$-$C_6$-ハロアルキルスルホニル、アミノ、$C_1$-$C_6$-アルキルアミノ、ジ($C_1$-$C_6$-アルキル)アミノ、ジ($C_1$-$C_4$-アルコキシ)メチル、ヒドロキシイミノ-$C_1$-$C_4$-アルキル、$C_1$-$C_6$-アルコキシイミノ-$C_1$-$C_4$-アルキルまたは$COR^8$であり；

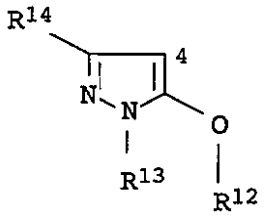
$R^8$は、水素、$C_1$-$C_4$-アルキル、$C_1$-$C_4$-ハロアルキル、ヒドロキシル、$C_1$-$C_4$-アルコキシ、$C_1$-$C_4$-アルコキシ-$C_2$-$C_4$-アルコキシ、$C_1$-$C_4$-ハロアルコキシ、$C_3$-$C_6$-アルケニルオキシ、$C_3$-$C_6$-アルキニルオキシまたは$NR^9R^{10}$であり；

$R^9$は、水素または$C_1$-$C_4$-アルキルであり；

$R^{10}$は、$C_1$-$C_4$-アルキルであり；

$R^{11}$は、下記式IIの4位で結合するピラゾールである：

【化９】



II

(式中、

$R^{12}$は、水素、$C_1$-$C_4$-アルキル、$C_1$-$C_4$-ハロアルキル、$C_3$-$C_6$-アルケニル、$C_3$-$C_4$-アル

キニル、$C_1$-$C_4$-アルキルカルボニル、$C_1$-$C_4$-ハロアルキルカルボニル、$C_1$-$C_4$-アルキルスルホニル、$C_1$-$C_4$-ハロアルキルスルホニル、チエニルメチル、フェニル、ベンジル、フェニルカルボニル、フェニルスルホニルまたはフェニルカルボニルメチルであり(最後に挙げた５つの置換基のフェニル基は、部分的に、または完全にハロゲン化され、および／またはニトロ、シアノ、$C_1$-$C_4$-アルキル、$C_1$-$C_4$-ハロアルキル、$C_1$-$C_4$-アルコキシまたは$C_1$-$C_4$-ハロアルコキシからなる群のうちの１～３個の置換基を有していてもよい)；

$R^{13}$は、$C_1$-$C_6$-アルキル、$C_1$-$C_6$-ハロアルキルまたは$C_3$-$C_6$-シクロアルキルであり；

$R^{14}$は、水素、$C_1$-$C_6$-アルキルまたは$C_3$-$C_6$-シクロアルキルである。)〕

で表される3-(4,5-ジヒドロイソオキサゾール-5-イル)ベンゾイルピラゾールおよびその農業上有用な塩に関する。

【誤訳訂正３】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】００５２
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【００５２】

または

$R^5$および$R^6$は、一緒になって、$C_1$-$C_4$-アルキルによりモノ～テトラ置換されているか、および／または酸素、若しくは$C_1$-$C_4$-アルキル置換されていてもよい窒素が挿入されていてもよい$C_2$-$C_6$-アルカンジイル鎖を形成し、

$R^5$で、特に好ましいのは、水素、ハロゲン、シアノ、ニトロ、$C_1$-$C_4$-アルキル、$C_1$-$C_4$-アルコキシ-$C_1$-$C_4$-アルキル、$C_1$-$C_4$-アルコキシカルボニル-$C_1$-$C_4$-アルキル、$C_1$-$C_4$-アルキルチオ-$C_1$-$C_4$-アルキル、$C_1$-$C_4$-ハロアルキル、$C_1$-$C_4$-シアノアルキル、$C_3$-$C_8$-シクロアルキル、$C_1$-$C_4$-アルコキシ、$C_1$-$C_4$-アルコキシ-$C_2$-$C_4$-アルコキシ、$C_1$-$C_4$-ハロアルコキシ、$C_1$-$C_4$-アルキルチオ、$C_1$-$C_4$-ハロアルキルチオ、ジ($C_1$-$C_4$-アルキル)アミノ、$COR^8$、フェニルまたはベンジルであり(ここで最後に挙げた２つの置換基は、部分的に、または完全にハロゲン化され、および／またはニトロ、シアノ、$C_1$-$C_4$-アルキル、$C_1$-$C_4$-ハロアルキル、$C_1$-$C_4$-アルコキシまたは$C_1$-$C_4$-ハロアルコキシからなる群のうちの１～３個の置換基を有していてもよい)、

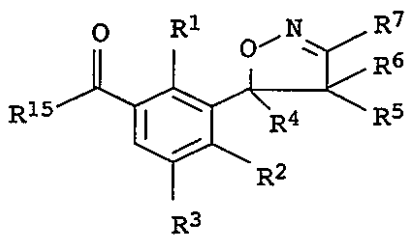
$R^6$で、特に好ましいのは、水素または$C_1$-$C_4$-アルキルであり、

$R^5$で、極めて特に好ましいのは、水素、$C_1$-$C_4$-アルキル、$C_1$-$C_4$-ハロアルキル、$C_1$-$C_4$-アルコキシカルボニルまたは$CONR^9R^{10}$であり；

【誤訳訂正４】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】０５３２
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【０５３２】

式III：

【化４４２】




III

〔式中、

$R^1$、$R^2$は水素、ニトロ、ハロゲン、シアノ、$C_1$-$C_6$-アルキル、$C_1$-$C_6$-ハロアルキル、$C_1$

-$C_6$-アルコキシ、$C_1$-$C_6$-ハロアルコキシ、$C_1$-$C_6$-アルキルチオ、$C_1$-$C_6$-ハロアルキルチオ、$C_1$-$C_6$-アルキルスルフィニル、$C_1$-$C_6$-ハロアルキルスルフィニル、$C_1$-$C_6$-アルキルスルホニルまたは$C_1$-$C_6$-ハロアルキルスルホニルであり；

$R^3$は水素、ハロゲンまたは$C_1$-$C_6$-アルキルであり；

$R^4$は水素または$C_1$-$C_4$-アルキルであり；

$R^5$、$R^6$は水素、ハロゲン、シアノ、ニトロ、$C_1$-$C_4$-アルキル、$C_1$-$C_4$-アルコキシ-$C_1$-$C_4$-アルキル、ジ($C_1$-$C_4$-アルコキシ)-$C_1$-$C_4$-アルキル、ジ($C_1$-$C_4$-アルキル)アミノ-$C_1$-$C_4$-アルキル、ジ($C_1$-$C_4$-アルキル)アミノイミノ-$C_1$-$C_4$-アルキル、ヒドロキシイミノ-$C_1$-$C_4$-アルキル、$C_1$-$C_6$-アルコキシイミノ-$C_1$-$C_4$-アルキル、$C_1$-$C_4$-アルコキシカルボニル-$C_1$-$C_4$-アルキル、$C_1$-$C_4$-アルキルチオ-$C_1$-$C_4$-アルキル、$C_1$-$C_4$-ハロアルキル、$C_1$-$C_4$-シアノアルキル、$C_3$-$C_8$-シクロアルキル、$C_1$-$C_4$-アルコキシ、$C_1$-$C_4$-アルコキシ-$C_2$-$C_4$-アルコキシ、$C_1$-$C_4$-ハロアルコキシ、$C_1$-$C_4$-アルキルチオ、$C_1$-$C_4$-ハロアルキルチオ、ジ($C_1$-$C_4$-アルキル)アミノ、$COR^8$、フェニルまたはベンジル(ここで最後に挙げた２つの置換基は、部分的に、または完全にハロゲン化され、および／またはニトロ、シアノ、$C_1$-$C_4$-アルキル、$C_1$-$C_4$-ハロアルキル、$C_1$-$C_4$-アルコキシまたは$C_1$-$C_4$-ハロアルコキシからなる群のうちの１～３個の置換基を有していてもよく)；

または

$R^5$および$R^6$は、一緒になって、$C_1$-$C_4$-アルキルによりモノ～テトラ置換されているか、および／または酸素、若しくは$C_1$-$C_4$-アルキル置換されていてもよい窒素が挿入されていてもよい$C_2$-$C_6$-アルカンジイル鎖を形成し；

$R^7$は、ハロゲン、シアノ、ヒドロキシル、$C_1$-$C_6$-アルキル、$C_1$-$C_6$-ハロアルキル、$C_1$-$C_6$-アルコキシ、$C_1$-$C_6$-ハロアルコキシ、$C_1$-$C_6$-アルキルチオ、$C_1$-$C_6$-ハロアルキルチオ、$C_1$-$C_6$-アルキルスルフィニル、$C_1$-$C_6$-ハロアルキルスルフィニル、$C_1$-$C_6$-アルキルスルホニル、$C_1$-$C_6$-ハロアルキルスルホニル、アミノ、$C_1$-$C_6$-アルキルアミノ、ジ($C_1$-$C_6$-アルキル)アミノ、ジ($C_1$-$C_4$-アルコキシ)メチル、ヒドロキシイミノ-$C_1$-$C_4$-アルキル、$C_1$-$C_6$-アルコキシイミノ-$C_1$-$C_4$-アルキルまたは$COR^8$であり；

$R^8$は、水素、$C_1$-$C_4$-アルキル、$C_1$-$C_4$-ハロアルキル、ヒドロキシル、$C_1$-$C_4$-アルコキシ、$C_1$-$C_4$-アルコキシ-$C_2$-$C_4$-アルコキシ、$C_1$-$C_4$-ハロアルコキシ、$C_3$-$C_6$-アルケニルオキシ、$C_3$-$C_6$-アルキニルオキシまたは$NR^9R^{10}$であり；

$R^9$は、水素または$C_1$-$C_4$-アルキルであり；

$R^{10}$は、$C_1$-$C_4$-アルキルであり；

$R^{15}$は、ヒドロキシルまたは加水分解により除去することができる基である。〕

で表される3-(4,5-ジヒドロイソオキサゾール-5-イル)安息香酸誘導体は、新規な化合物である。

【誤訳訂正５】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】０５４５

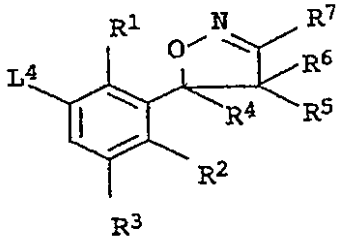
【訂正方法】変更

【訂正の内容】

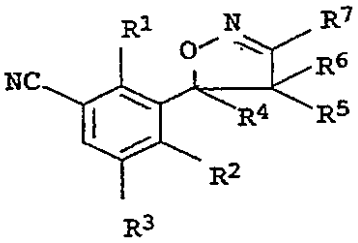
【０５４５】

式VIおよびVII：

【化４４８】



VI



VII

〔式中、
$R^1$、$R^2$は水素、ニトロ、ハロゲン、シアノ、$C_1$-$C_6$-アルキル、$C_1$-$C_6$-ハロアルキル、$C_1$-$C_6$-アルコキシ、$C_1$-$C_6$-ハロアルコキシ、$C_1$-$C_6$-アルキルチオ、$C_1$-$C_6$-ハロアルキルチオ、$C_1$-$C_6$-アルキルスルフィニル、$C_1$-$C_6$-ハロアルキルスルフィニル、$C_1$-$C_6$-アルキルスルホニルまたは$C_1$-$C_6$-ハロアルキルスルホニルであり；
$R^3$は水素、ハロゲンまたは$C_1$-$C_6$-アルキルであり；
$R^4$は水素または$C_1$-$C_4$-アルキルであり；
$R^5$、$R^6$は水素、ハロゲン、シアノ、ニトロ、$C_1$-$C_4$-アルキル、$C_1$-$C_4$-アルコキシ-$C_1$-$C_4$-アルキル、ジ($C_1$-$C_4$-アルコキシ)-$C_1$-$C_4$-アルキル、ジ($C_1$-$C_4$-アルキル)アミノ-$C_1$-$C_4$-アルキル、ジ($C_1$-$C_4$-アルキル)アミノイミノ-$C_1$-$C_4$-アルキル、ヒドロキシイミノ-$C_1$-$C_4$-アルキル、$C_1$-$C_6$-アルコキシイミノ-$C_1$-$C_4$-アルキル、$C_1$-$C_4$-アルコキシカルボニル-$C_1$-$C_4$-アルキル、$C_1$-$C_4$-アルキルチオ-$C_1$-$C_4$-アルキル、$C_1$-$C_4$-ハロアルキル、$C_1$-$C_4$-シアノアルキル、$C_3$-$C_8$-シクロアルキル、$C_1$-$C_4$-アルコキシ、$C_1$-$C_4$-アルコキシ-$C_2$-$C_4$-アルコキシ、$C_1$-$C_4$-ハロアルコキシ、$C_1$-$C_4$-アルキルチオ、$C_1$-$C_4$-ハロアルキルチオ、ジ($C_1$-$C_4$-アルキル)アミノ、$COR^8$、フェニルまたはベンジル(ここで最後に挙げた２つの置換基は、部分的に、または完全にハロゲン化され、および／またはニトロ、シアノ、$C_1$-$C_4$-アルキル、$C_1$-$C_4$-ハロアルキル、$C_1$-$C_4$-アルコキシまたは$C_1$-$C_4$-ハロアルコキシからなる群のうちの１～３個の置換基を有していてもよく)；
または
$R^5$および$R^6$は、一緒になって、$C_1$-$C_4$-アルキルによりモノ～テトラ置換されているか、および／または酸素、若しくは$C_1$-$C_4$-アルキル置換されていてもよい窒素が挿入されていてもよい$C_2$-$C_6$-アルカンジイル鎖を形成し；
$R^7$は、ハロゲン、シアノ、ヒドロキシル、$C_1$-$C_6$-アルキル、$C_1$-$C_6$-ハロアルキル、$C_1$-$C_6$-アルコキシ、$C_1$-$C_6$-ハロアルコキシ、$C_1$-$C_6$-アルキルチオ、$C_1$-$C_6$-ハロアルキルチオ、$C_1$-$C_6$-アルキルスルフィニル、$C_1$-$C_6$-ハロアルキルスルフィニル、$C_1$-$C_6$-アルキルスルホニル、$C_1$-$C_6$-ハロアルキルスルホニル、アミノ、$C_1$-$C_6$-アルキルアミノ、ジ($C_1$-$C_6$-アルキル)アミノ、ジ($C_1$-$C_4$-アルコキシ)メチル、ヒドロキシイミノ-$C_1$-$C_4$-アルキル、$C_1$-$C_6$-アルコキシイミノ-$C_1$-$C_4$-アルキルまたは$COR^8$であり；
$R^8$は、水素、$C_1$-$C_4$-アルキル、$C_1$-$C_4$-ハロアルキル、ヒドロキシル、$C_1$-$C_4$-アルコキシ、$C_1$-$C_4$-アルコキシ-$C_2$-$C_4$-アルコキシ、$C_1$-$C_4$-ハロアルコキシ、$C_3$-$C_6$-アルケニルオキシ、$C_3$-$C_6$-アルキニルオキシまたは$NR^9R^{10}$であり；
$R^9$は、水素または$C_1$-$C_4$-アルキルであり；
$R^{10}$は、$C_1$-$C_4$-アルキルであり；
$L^4$は、ハロゲンである。〕
で表される化合物も同様に新規な化合物である。